

高知県工業技術センターだより

▶ 導入機器のご紹介

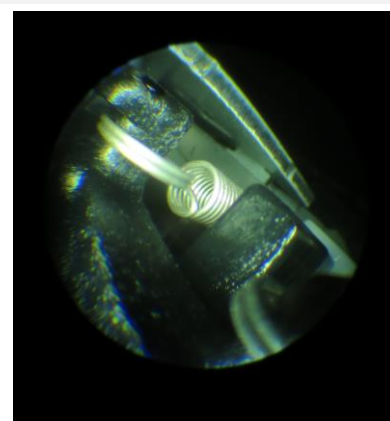
当センターでは、公益財団法人 JKA「2021 年度公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究事業」の補助を受けて、以下の3機種を導入しました。

1 ボアスコープ

先端径 5.5mm、有効長 272mm の内視鏡です（胃カメラと異なり曲がりません）。肉眼でのぞいて使用するほか、カメラ等を接続して使用することができます。今回、ボアスコープに取り付けられるハイスピードカメラも併せて導入しました。その二つを組み合わせることで、奥まったところにある動く対象物を、最大 1000fps のハイスピード撮影(モノクロ)をすることが可能です。



ボアスコープ



ボアスコープでの撮影画像例
(プリンタ内部)

2 サンプルスライサー

試料を精度良くスライスする機器です。スライス角度を 45°～90°間で任意に選択できます。手で切断した試料に比べて圧倒的に高品位の断面を得ることができます。これにより、試料の断面を詳細に顕微鏡観察できるようになりました。



サンプルスライサー

3 超高速温度測定装置

最速で毎秒1万回の温度測定を行う装置です。高速度測定時には温度センサーの線径の極めて細いものを使う必要があります。この装置を用いることで、加熱部位等に発生するごくわずかな温度変化について、その時間経過と併せて測定することができます。



超高速温度測定装置



紹介した3機種は、競輪の補助を受けて導入しました。

▶バイオプラスチックセミナー開催のご報告

プラスチック代替素材利用促進分科会において、バイオプラスチックに関するセミナーを8月31日にZOOMによるオンライン形式で開催いたしました。バイオプラスチックとは、環境中で分解される生分解性プラスチックと植物などのバイオマス資源を原料とするバイオマスプラスチックの総称であり、プラスチックの利用削減やCO₂排出量の削減といった観点から今後の利活用が期待されています。

本セミナーでは、日本バイオプラスチック協会顧問吉田正俊氏にご講演いただき、バイオプラスチックの性質やその工業的な利活用の現状と展望について理解を深めました。

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15



高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center